

2026年8月中旬

一粒書房 新刊のご案内

歴史書／社会科学書／人文書  
ご担当者様〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1  
TEL:0569-21-2130  
Mail: book@ichiryusha.com

## 歴史民俗学からみた日本建国の歴史物語

A5判・並製本／276頁／定価：1760円(本体1600円+税)

徳永良邦[著]

日本の建国の時代を伝える文献として、290年頃に中国の歴史書に付属的に記載された2500字ほどの「魏志倭人伝」が知られている。その後の日本の歴史は、奈良時代に作られた官製の歴史書である「日本書紀」「古事記」(記紀という)の伝える記述を中心にして推理されている。

しかし、記紀には、魏志倭人伝が伝える邪馬台国らしい国は存在せず、代わりに高天原という天上界に住む神々が地上に天下りして、神武天皇とそれ以降の天皇が倭国を作ったという神話が書かれている。それに加えて、2代から9代の天皇の時代の事績は何も書かれていない(「欠史八代」という)問題点もある。こうした点から記紀を歴史書とするのは疑問があるとする見方が一般的である。そのせいで今日の日本史教科書ではこの時代の記述内容は考古学的な知見の解説が主であり、歴史上の人物とか出来事にはほとんど触れられていないのが現実である。

それに対して、地方に残る神社やその由緒書き、民俗、伝承を調べて、建国の歴史を推理した原田常治氏、小椋一葉氏等の先人たちの仕事がある。それにより、上記の魏志倭人伝と記紀の間の記述のギャップは大きく埋められたと私は評価している。

彼らの立派な業績を踏まえつつ、それでもいまだ疑問のある部分、不明な点、納得のいかない点等も多くあるので、それを調査、研究して著者流の見解を加えて物語風に書いたのが本書である。

中でも最も闇に包まれた観のある欠史八代の時代は、事績をなぜ記さなかったのか、実際には何があったのか、著者は新たな視点からこの時代の天皇の系譜を見直して、その核心に迫った。

《主要目次より》

●魏志倭人伝の概要

●風雲児・素佐之男の雄飛

●ヒミコの出現

●邪馬台国最後の王「豊受姫」

●合併後の日本国(欠史八代時代)

●日本書紀、古事記の成立と律令国家への転身



【著者紹介】徳永良邦(とくなが よしくに)

- 昭和19年 長野県に生まれる
- 昭和43年 東京大学工学系大学院修士課程を修了。  
富士製鉄(現在の日本製鉄)に入社。
- 米国レンスラー工業大学大学院に留学。
- 昭和62年 名古屋大学から「工学博士」の学位。
- 平成 9年 「全国発明表彰発明賞」受賞。
- 平成10年 名古屋大学工学部教授
- 平成13年 公益財団法人名古屋産業科学研究所  
中部TLO事業部長

|            |        |     |                                     |
|------------|--------|-----|-------------------------------------|
| ご注文<br>申込書 | 貴店名・帖合 | 注文数 | 発行:一粒書房 TEL.0569-21-2130            |
|            |        |     | 徳永良邦[著]                             |
|            |        |     | 歴史民俗学からみた日本建国の歴史物語                  |
|            |        |     | A5判・並製本／276頁<br>定価:1760円(本体1600円+税) |
|            |        | 冊   | ISBN978-4-86743-443-7 C0021 ¥1600E  |

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い